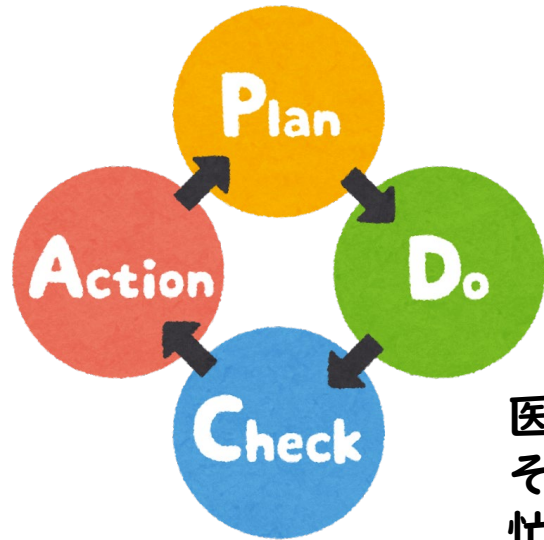


第20回 医療の質・安全学会学術集会

初心者セミナー

『インシデント対策のその後まで 手がまわりません!』

日時：11月8日（土）10:00-10:40 第2商談室



医療安全管理者の皆様、日々のインシデントの発生に対して、対策をたてたもののその後、どんな風にPDCAサイクルを回して、改善につなげていくまで、忙しい中で、「手が回らない～!!」となってしまうっていませんか？インシデントをどんな風に質改善活動につなげることができるのか、基礎的な手法や効率化について、一緒に学び考えてみませんか？

担当講師：平松真理子（慶應義塾大学病院）

サステイナブルな質の改善と患者安全



第20回 医療の質・安全学会学術集会



みんなで考えてみよう！再発防止策とその後～

看護師Aは、医師Bに「安全太郎さんにマイスリー10mgを処方してください」と口頭で依頼した。

医師Bは、マイスリー10mg1錠/就寝前で7日分処方し、看護師Aに処方をしたことを伝えた。

4日後の深夜、安全次郎さん(80代)が膀胱留置カテーテルを自己抜去した状態で転倒しているところを看護師Cが発見。その後、上腕骨の骨折が確認された。

安全次郎さんはもともとマイスリー10mgをかかりつけのクリニックで処方されており、主治医であった医師Dは入院時よりマイスリー10mg1錠/就寝前で処方されていた。医師Bがマイスリー10mg1錠/就寝前の処方をしたため、安全次郎さんは、4日前からマイスリー10mg2錠を就寝前に内服していたことが判明した。

サステイナブルな質の改善と患者安全



第20回 医療の質・安全学会学術集会



どんな再発防止策を考えますか？

サステイナブルな質の改善と患者安全





再発防止策のモニタリングは？

サステイナブルな質の改善と患者安全



組織の中で標準化するには？
(時間があれば)

サステイナブルな質の改善と患者安全